教育委員提案①

「マスクを外すこと」による
子供への心理的影響について

学務課

これまでのマスク着用等の状況について

R1年12月	新型コロナウイルス発生
R2年1月～	マスクの着用を推奨が始まる。
R2年2月28日～	春季休業前まで全国一斉臨時休業
R2年3月	「3つの密」について広く報道される。
R2年4月～	マスクが全世帯2枚ずつ配布される。
R2年4月～5月、 R3年1月～3月、 8月～9月	埼玉県で緊急事態措置
R4年6月	教育委員会と校長会の連名で保護者宛にマスクの着用についての通知送付

令和4年6月マスクの着用について保護者に通知

1回目：6月1日

- 児童生徒の健康全体を見据えてマスクの着脱を指導すること。
- 熱中症リスクが高い夏場においては、登下校時にマスクは必要ないこと。
- 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業の際には、マスクの着用は必要がないこと。
- 運動部活動についても、体育の授業に準じ、各競技団体が作成するガイドライン等も踏まえて対応すること。

2回目：6月14日

- 熱中症のリスクが高まる夏季は、場面に応じてマスクを外すこと。
- ソーシャルディスタンスを十分確保できる教育活動や登下校の際は、熱中症対策を優先させるよう指導すること。

マスク着用の現状

登下校時	ほぼ全員がマスクを着用 ・友達としゃべりたい
どちらでもよいとき （自分で選択）	ほぼ全員がマスクを着用 ・顔を見られるのが恥ずかしい ・周りが外さないと外しにくい
「外す」指示があるとき （体育授業、写真撮影）	全員マスク無し
部活動	運動量の多い部活は全員マスク無し

今後のマスクの着用について

夏場は熱中症対策を優先し、外せる場面では外す指導を継続

ただし、感染状況に応じて適切に対応していく。